

# 研修シラバス

## 研修名

保育所等実習指導研修会

## 研修会の構図（グランドデザイン）

保育の質の向上を目指すためには、現職者の研修のみならず、今後の保育を担う人材の育成を視野に入れることが必要である。保育所等における実習及び実習指導は、保育士の育成の一貫であり、保育実習指導は保育所等の社会的役割の一つである。保育実習の質を向上するためには、保育所等における実習指導者の力量を高めること、実習生の実態を理解すること、養成校との連携・協同を深めることを主軸として、学び手としての実習生の主体性を尊重した保育実習が展開される必要がある。

よって、本研修会では、①保育所等の社会的役割、②人材育成の視点にたった保育実習の意義や役割、③実習生の実態を踏まえた実習のあり方、④養成校との連携のあり方を捉えた上で、自園における保育実習の課題を整理し、質の高い保育実習の実践的な指導体制を検討することを目指す。

## 基本コンセプト・研修のねらい

（基本コンセプト） 実習指導者として必要な知識と技術を習得する。

- （研修のねらい）
- ・保育士養成校と学生の実情を把握する。
  - ・保育所実習における指導の方法と理論について学ぶ。
  - ・実習指導者としての専門性を高める。

## 受講対象・受講条件

本研修会は、保育所等において、保育実習の実習指導を行う者（予定者を含む）を対象とする。

## 研修内容

- ① 保育実習の社会的役割
- ② 保育実習をめぐる諸課題
- ③ 保育士の養成と保育実習
- ④ 保育実習指導の基本
- ⑤ 保育実習指導の実践

## 研修の構成

本コースは、12.5 時間の研修であり、この研修をより効果的にするために、事前課題ならびに事後課題の学習機会を設ける。この事前課題、研修、事後課題の一連において本研修を構成し、すべてに参加することにより研修会の全課程を修了したものとする。

## 事前学習（課題）

所属保育所等における以下（①・②）の内容について、受講者が把握し、研修当日のグループ討議やワークショップ等において、他の受講者に説明できるように整理しておくこととする。

- ① 実習指導上の個人の課題
- ② 実習指導上の組織の課題

## 事後学習（課題）

研修後、研修会の各科目に関する学びを振り返り、事前学習（課題）の内容をさらに深く把握・分析する。それらを踏まえ、自園に戻ってからのアクションプラン（行動計画・指標）を立てること。必要に応じて研修の内容の確認を求める。

## 研 修

研修は5科目により構成され、研修会の構図（グランドデザイン）及び基本コンセプト並びに研修のねらいに基づいて、各研修の講師を選定し、以下の進行方法のいずれか、又は組み合わせによって実施する。なお、各科目の講師との協議によって到達目標の達成においてより良い方法があると判断される場合には、この限りではない。

### 【研修の進行方法について】

#### A. 講義形式

最新情報や関連理論の入手・獲得を行い、知識の体系化・整理をねらいとする

#### B. グループディスカッション形式

実践例の紹介により、知識の体系化や講義内容の理解を深め、新しいアイデアの創出と共有することをねらいとする

#### C. ワークシート作成型ワークショップ形式

学習内容の整理と定着をねらいとし、実践に反映するために自園の状況の整理と把握、企画・計画の作成をねらいとする

講義 No.	科目名	講義内容	進行 方法	時 間
1	保育実習の社会的役割	<p>【概要】 昨今の保育者をとりまく社会的な環境等を理解し、今後の保育を担う人材の育成の観点から、保育所等並びに保育実習が果たす社会的役割について学習する。</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 保育所等が担う社会的役割について</li> <li>➤ 保育者養成の動向について</li> </ul>	A	1
2	保育実習をめぐる諸課題	<p>【概要】 保育所等における保育実習の現状と構造的な課題について把握したうえで、自園における保育実習指導の問題を把握し、今後、自園で取り組んでいく保育実習指導の課題を整理する。</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 保育所等における保育実習指導の現状について</li> <li>➤ 保育実習指導に対する課題の整理</li> </ul>	B	2
3	保育士の養成と保育実習	<p>【概要】 保育士養成校（4年制大学、2年制短期大学、専修学校）の立場から発信される保育士養成の現状と課題を把握し、養成課程における保育実習をより効果的なものにするため、保育実習指導のあり方について学習する。</p> <p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 実習生の現状を踏まえた実習について</li> <li>➤ 保育実習の目的と保育実習実施基準について</li> <li>➤ 養成校との連携のあり方について</li> </ul>	A	2

4	保育実習指導の基本	<p><b>【概要】</b>  実習生の受け入れ体制の構築および指導法などの保育実習指導の基本を学ぶために、保育所等の複数の実践事例報告から自園との保育実習指導の違いを考察し、実習生の学びがより深いものとなるよう、効果的な手法について学習する。</p> <p><b>【学習内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 実習生の受け入れ体制について</li> <li>➤ 保育実習指導の内容と指導法（記録・評価・指導等）</li> <li>➤ 効果的な保育実習指導の事例</li> <li>➤ 養成校と保育所等の協働による職員の資質向上について</li> </ul>	A	4.5
5	保育実習指導の実践	<p><b>【概要】</b>  今後の保育を担う人材育成の観点から、保育実習の意義を理解した上で、保育士養成校との連携と自園における保育実習指導のあり方、今後の保育実習の指導に対する具体的な方法について学習する。</p> <p>自園での保育実習及び実習指導のアクションプランづくりを通して、自園における保育実習の課題を整理し、質の高い保育実習の実践的な指導体制を検討する。</p> <p><b>【学習内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 保育実習及び実習指導の実践</li> </ul>	C	3

### 修了証の発行条件

以下の全てをすべて完了した方に、確認後、約一か月程を目安に、修了証を発行・発送する。

- ① 事前学習（課題）を指定のとおり提出すること
- ② 研修科目全てへの出席・修了をすること
- ③ 事後学習（課題）を指定のとおり提出すること